第VI章. 福岡・九州における医療観光展開の可能性 一医療ツーリズム 中国市場実証分析をもとに一

山口大学大学院経済学研究科教授 羽生 正宗

1. はじめに

世界的にみてアジアは有数の医療ツーリズムの目的地である。

我が国でも、2010年、政府の「新成長戦略」において医療ツーリズムが国家戦略プロジェクトの一つとして位置付けられ、戦略的な医療ツーリズム関連産業の育成ならびに医療ツーリストの誘致に向けた取組が進められている。

そのような中、我が国においてインバウンド医療サービスの提供を考えた場合、アジアへの玄関口に位置する福岡・九州は、アクセス、医療資源、観光資源などすべての面で国内最有力地域と言える。

医療ツーリズムの潜在的な需要としては、特に中国、ロシア、中近東の富裕層が多く、彼らは、我が国の最先端の MRI、エックス線装置、内視鏡の治療、人間ドッグいった医療サービスを望んでいる。

中でも、中国では経済発展に伴う所得水準の向上により、富裕層を中心として、海外での「医療観光」に対するニーズが高まりを見せていることから、今後の我が国への誘客にも期待がもてる。

そこで、本章では、上述した背景や現状をふまえた上で、2010年度に山口大学大学院経済学研究科 羽生研究室において実施した、「医療ツーリズム中国市場実証分析」の調査結果をもとに、福岡・九州における医療ツーリズムの導入・拡大の可能性を検証し、今後の方向性について検討、考察し、提示を行う。

2. 中国の富裕層に照準

観光庁では、観光立国推進戦略会議の提言において 2020 年代に年間訪日外客 2,000 万人の実現を目指すとしている。訪日外客 2,000 万人時代のイメージとして、中国人が 2008年の 100 万人から 600 万人へと約 6 倍に増加。その他アジアも 138 万人から 330 万人に 2.4 倍程度増加することを想定するなど、アジアが重要なターゲットと認識されており、特に中国人の訪日に期待している。(図表 1 参照)

日本の医療・健診等をアピールできれば、訪日のきっかけづくりになる。インバウンド 医療ツーリズムの試みとしては、中国人を意識するのは当然の流れであり、医療のみで完 結するのではなく、観光とセットで考えるような視点が重要になると見ている。

図表 1. 訪日外客 2,000 万人時代の訪日客の状況(単位:万人)観光庁資料より作成

対象国・地域	2008 年実績	%
韓国	238	28.5
台湾	139	16.6
中国	100	12.0
その他アジア	138	16.5
欧州	89	10.7
北米	97	11.6
オセアニア	28	3.4
中南米	4	0.5
アフリカ	2	0.2
計	835	100.0

2020 年想定	%
400	20.0
200	10.0
600	30.0
330	16.5
210	10.5
170	8.5
50	2.5
30	1.5
10	0.5
2,000	100.0

中国側で医療観光をあっせんする「優翔国際」(本社・北京市)は「日本が中国人の個人旅行の条件を緩和することで、北京や上海などに限らず、より多くの人が日本の先進医療を受けられるようにしてほしい」としている。

3. 中国消費者実態調査分析

2010年11月、山口大学大学院経済学研究科羽生研究室では、政府による医療ツーリズムの中国をターゲットとした推進を視野に入れ、より実践的に、我が国のインバウンド医療サービスの利用者となる中国の富裕層を対象とし、我が国における医療観光、医療サービスの利用意向度・ニーズ・課題や利用の条件などの調査を実施した。

本調査分析では「1.わが国の医療観光の方向付け」を行うと共に、調査の中で、対象者が想定する支出額も聴取し、それを原単位とした「2.わが国経済への波及効果のシミュレーション」を行うことにより、中国における拡大の課題・必要度の関係から、医療ツーリズムの促進要因を探り、今後の我が国の医療ツーリズムの導入に役立たせることを目的としている。

調査概要

調査目的:中国の医療観光認知者において、海外への医療観光の実施意向の程度 と意向理由を明らかにし、更に、意向者において、実際に実施した場合の、想定する内容や滞在国での医療サービス以外の想定消費金額を

明らかにする。

また、上記消費金額を原単位として需要推計・経済波及効果の試算を行う。

調査対象 : 北京市・上海市・広州市・重慶市に居住する 20 歳~59 歳、個人年収 3

万元以上の男女個人。 (2011/01/26 レート・1 元=12.48 円)

条 件:医療ツーリズムの認知者(スクリーニング設問に対して「医療ツーリズ

ムを知らなかった」と回答した人は対象外とした。)

サンプル設計 (回収) : サンプル数は 4 都市それぞれ 20 代~50 代の男女より、合計 1,000 人である。

なお、下記、図表3の Q2~Q14 の医療観光実施時の 想定設問は、医療観光非意向者を除外しているため、集 計対象は928名に絞られている。

図表 2. 中国 WEB 調査サンプル数 (単位:人)

	計	20代	30代	40代	50代
合計	1,000	351	365	224	60
北京・男性	150	45	40	48	17
北京・女性	100	30	24	32	14
上海・男性	96	30	34	24	8
上海・女性	154	46	82	21	5
広州・男性	109	53	33	19	4
広州・女性	141	41	49	49	2
重慶・男性	164	70	71	16	7
重慶・女性	86	36	32	15	3

調查方法 : WEB 調查

調査実施時期(実査期間): 2010年11月18日~11月24日

集 計: 本調査で回収したサンプルの都市別・性別・年代別構成は、母集団人

口でのそれとは異なり、加えて、本調査は医療観光認知者(名称認知以上)を調査対象としているため、本調査結果の合計値が医療観光認知母集団での数値として推測可能なように重み付き集計(ウェイトバ

ック集計)を行う。

図表3.調査項目:調査項目は以下の17問

Q1	医療観光の認知の有無
Q2	医療観光の利用意向
Q3	医療観光の利用目的
Q4	医療観光の最も大きな目的
Q5	医療観光で行きたい国
Q6	医療観光で最も行きたい国
Q7	医療観光を行う期待や理由として同意される気持ちの程度
Q8	医療観光を利用する場合の日程
Q9	医療観光をする場合の同行者
Q10	滞在期間中の一日当りの一人分の滞在費
Q11	滞在費の各項目(宿泊・食事・移動交通・入場料等)への振り分け
Q12	想定されるお土産代
Q13	医療観光をする方法

Q14	医療観光を実施する場合の時期
Q15	医療観光が普及するための課題として同意される気持ちの程度
Q16	日本へ観光旅行をする場合にしたいこと
Q17	日本の中で行ってみたいエリア

4. 中国の一般消費者における医療観光の浸透状況

(1) 医療観光の実施意向国

まず、もし、医療観光を実施する場合、何処に行きたいかについて尋ねた結果、第 1 位が「シンガポール(64%)」であり、次いで「日本(60%)」「米国(53%)」であった。4 位の「韓国(45%)」までの国では、4 割以上の利用意向を持っているのに対し、5 位以下は $1\sim2$ 割程度に留まっているのが分かる。(図表 4 参照)

また、基本属性別の傾向を見てみると、まず、都市別では、上位3カ国は、北京市では、「シンガポール」「米国」「日本」の順に、また広州市では「日本」「米国」「シンガポール」の順に、上海市と重慶市では、全体と同じ順位となっている。

性別で見ると、男性は全体と同じだが、女性の場合「日本」を最も行きたい所として 選択しており、次いで「シンガポール」「米国」の順となっている。

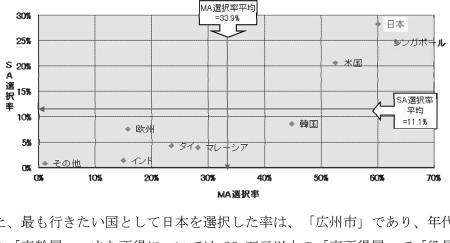
さらに年代別では、20代では、「シンガポール」「米国」「日本」だが、「韓国」の割合が低く、「マレーシア」「欧州」が高い。30代では、全体と同じだが、「韓国」「マレーシア」「タイ」が高い。40代は、全体と同じだが、「マレーシア」「タイ」「インド」が低い。50代は「日本」「米国」「韓国」がトップ3で、「インド」が高く、「シンガポール」「マレーシア」が低くなっている。

■全体(n=928) 北京市(n=185) 上海市(n=261) 広州市(n=120) ■重慶市(n=362) ---- 男性(n=496) +- 女性(n=432) 20代(n=259) 30代(n=270) 40代(n=240) 50代(n=159) 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0% シンガポール 日 国 ō ンド

図表4. 医療観光で行きたい国 05. 医療観光で行きたい国

(2) 医療観光意向先としての日本の位置づけ

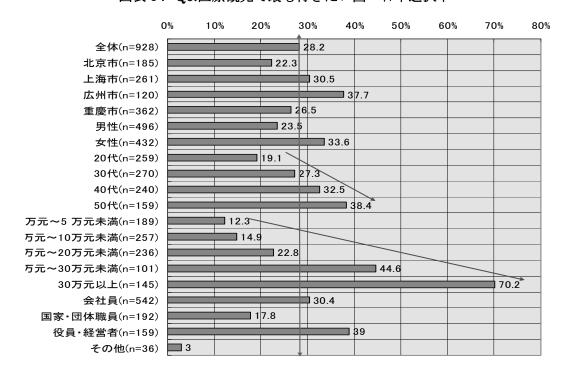
医療観光を非常に利用したい意向者の意向国については複数回答(MA・行きたい国)ではシンガポールに次ぐ2位であり、単数回答(SA・最も行きたい国)ではトップの位置にある。シンガポールと拮抗するものの、そのポテンシャルの高さが窺える。(図表5参照)



図表 5. Q5.医療観光意向先としての日本の位置づけ

また、最も行きたい国として日本を選択した率は、「広州市」であり、年代は 50 代といった「高齢層」、また所得については 30 万元以上の「高所得層」で「役員・経営」層において高い値を示している。(図表6参照)

このように日本に好感を持つ層を中心とした誘引施策の展開の必要性が窺える。



図表 6. Q6.医療観光で最も行きたい国・日本選択率

(3) 医療観光実施時の想定滞在費(1日・一人) 総額

医療観光を実施した場合の想定滞在費用を尋ねたところ、「1 千元~1.5 千元(12,480~18,720 円)」がトップであり、上位 4 位が「500~1 千元(6,240~12,480 円)」から「2 千~2.5 千元(24,960~31,200 円)までとバラツキが大きかった。(2011/01/26 レート・1 元=12.48 円)

医療観光の想定滞在費用についてその平均で見てみると、約2千元(24,960円)となっており、所得階層による差異や、「役員・経営者」ではやや突出して高いものの、都市間や年代、性差などに大きな格差は見られず、比較的穏やかである。(図表7参照)

1000元 1250元 1500元 1750元 2000元 2250元 2500元 2750元 3000元 1,927 全体(n=928) 1,709 北京市(n=185) 上海市(n=261) 2,099 1,975 広州市(n=120) 重慶市(n=362) 1,898 男性(n=496) **1**,936 1 917 女性(n=432) 20代(n=259) 1,795 30代(n=270) 1,925 40代(n=240) 2,021 50代(n=159) 2.004 **1**,410 3 万元~5 万元未満(n=189) 1,535 5 万元~10万元未満(n=257) 2.059 10万元~20万元未満(n=236) 2,438 20万元~30万元未満(n=101) 30万元以上(n=145) 2,724 会社員(n=542) 1,853 国家·団体職員(n=192) ,788 役員·経営者(n=159) 2,544 その他(n=36) **口** 1,043

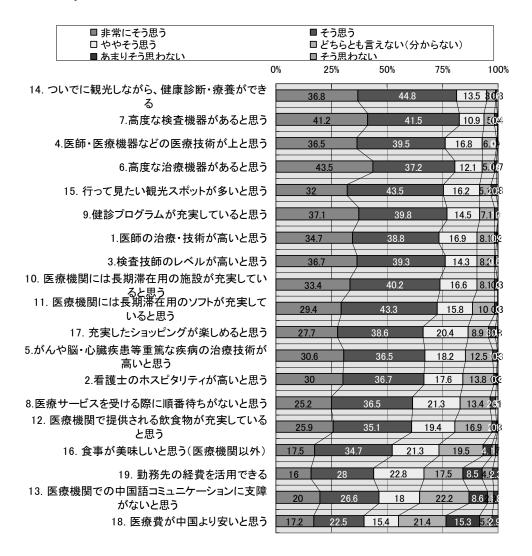
図表 7. Q10.滞在期間中の一日当り一人分の滞在費

(4) 医療観光実施の理由と課題

実施理由

医療観光実施の理由について、「1. 医師の治療・技術が高いと思う」「2. 看護師のホスピタリティが高いと思う」などといった 19 項目より選択回答してもらった結果、最も高い支持を得た実施理由は、「7. 高度な検査機器があると思う」といった自国以上の先進性への期待が窺われ、次いで「14.ついでに観光しながら、健康診断・療養ができる」という、気軽なものであり、医療観光実施該当者の裾野の広さが窺える。(図表8参照)

図表8. Q7.医療観光を行う期待や理由として同意される気持ちの程度(n=928)

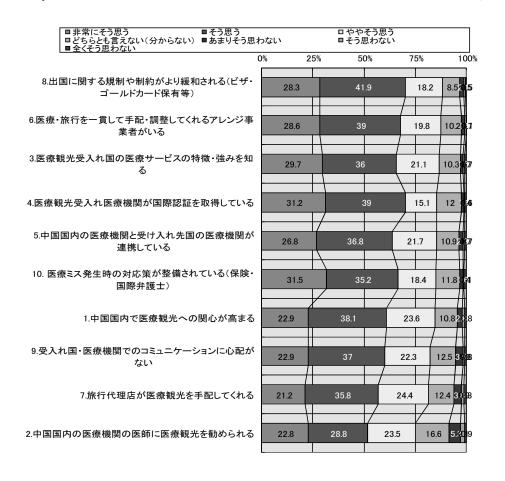


(5)医療観光利用促進の課題

医療観光の利用促進課題として最も上位に挙がったものは「8. 出国に関する規制や制約がより緩和される(ビザ・ゴールドカード保有等)」であり、次いで「6.医療・旅行を一貫して手配・調整してくれるアレンジ事業者がいる」となっており、いずれも中国の国内における問題である。(図表9参照)

一方、非常にそう思うと応えた層に着目すると、「10.医療ミス発生時の対応策が整備されている(保険・国際弁護士)」や、「4.医療観光受入れ医療機関が国際認証を取得している」といった受入れ国側の問題であり、医療観光の需要拡大に向けては、中国国内・外両方の課題解決の必要性が窺える。

図表 9. Q15.医療観光が普及するための課題として同意される気持ちの程 (n=1,000)



5. 日本意向者分析

上記中国医療観光調査では、全体で1,000S、内医療観光意向者928Sの回収を得たが、この中には意向国として、日本を意向しないサンプルも含まれているため、本分析では、日本を最も行きたい国と回答した「日本意向者」262Sに着目し、日本意向者の特徴を抽出することを目的として分析を実施した。

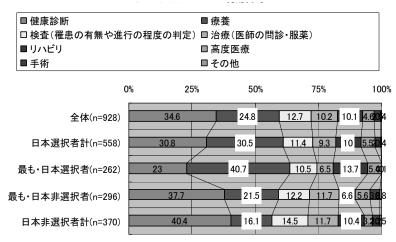
属性

「最も日本に聞きたい」選択者の属性上の特徴は、性別では「女性」であり、年代では「40・50代」、所得では「10万元~40万元」の割合が高く、また、就業状況では「会社員」が最も多く「国家・団体職員」の割合は極めて低いものであった。

(1) 医療観光の意向度

日本選択者の医療観光の利用意向度については、「最も日本へ行きたい」選択者の利用 意向度は「非常に利用したい」「利用したい」で約75%を占め他層に比べて顕著に高かっ たが、その利用目的について見てみると、「最も日本へ行きたい」日本選択者の利用目的 は「健診」よりも「療養」の方が高く他層とは異なる傾向であった。(図表10参照)

図表 10. Q3.医療観光の利用目的

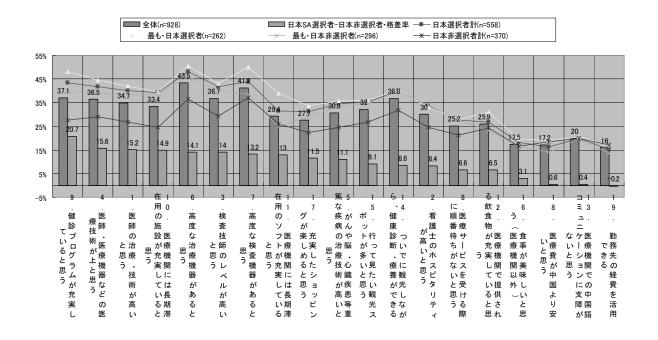


(2) 医療観光実施理由

「最も日本へ行きたい」という日本選択者の医療観光実施理由について見てみると、その意向理由は、「6.高度な治療機器があると思う」「7.高度な検査機器があると思う」が上位2項目であり、また、日本非選択者との格差で見ると、「9健診プログラムの充実していると思う」が最も高く、以下「4.医師・医療機器などの医療技術が上と思う」「1.医師の治療技術が高いと思う」「10.医療機関には長期滞在用の施設が充実していると思う」は日本非選択層に較べ15%程度高くなっている。(図表11参照)

また、全般的傾向として、日本選択者の回答率が(n=558)であるのに対し、非選択者の回答率が(n=370)と日本選択者の回答率が高くなっている。

図表 11. Q7.医療観光を行う期待や理由として同意される気持ちの程度



(3) 医療観光普及課題

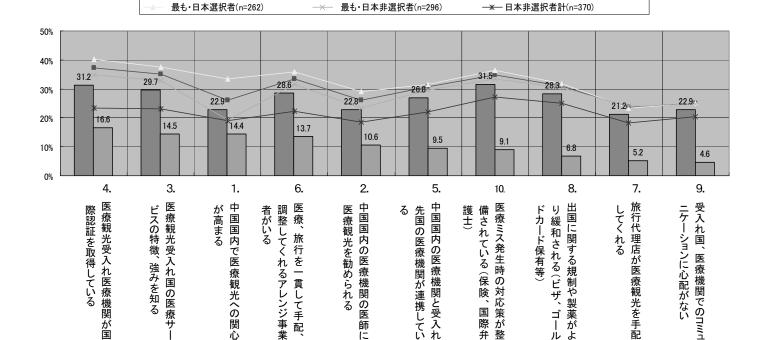
全体(n=928)

「最も日本へ行きたい」日本選択者の医療観光普及課題について見てみると、最も日本を選択した人の意向理由の第1位は「10.医療ミス発生時の対応策が整備されている」であり、次いで「4.医療観光受入れ医療機関が国際認証を取得している」「3.医療観光受入れ国の医療サービスの特徴、強みを知る」「6.医療・旅行を一貫して手配・調整してくれるアレンジ事業者がいる」が上位課題となっている。(図表12参照)

また、日本非選択者との格差率を見てみると、「4.医療観光受入れ医療機関が国際認証を取得している」が最も高く、以下「3.医療観光受入れ国の医療サービスの特徴、強みを知る」「1.中国国内で医療観光への関心が高まる」「6.医療・旅行を一貫して手配・調整してくれるアレンジ事業者がいる」「2.中国国内の医療機関の医師に医療観光を勧められる」は日本非選択層に較べ10%を超える高い結果となっている。

図表 12. 医療観光が普及するための課題として同意される気持ちの程度

□□□□ 日本SA選択者-日本非選択者·格差率 -■- 日本選択者計(n=558)



考 察

医療観光意向者において、最も行きたい国として日本を選択した層とそれ以外の層とを 比較した結果、以下のことが明らかとなった。

- ① 日本意向者の属性上の特徴としては、「女性」「相対的高齢層」「高所得層」 の割合が高い。
- ② 医療観光意向度は、日本意向層の方が他国意向層よりも高い。
- ③ 医療観光の目的は、日本意向層では「療養」が最も高いのに対し、他国意向層では「健診」の方が高い。

- ④ 医療観光実施理由は、日本意向層は他国意向層全般的に回答率が高く、且つ、 治療・検査の技術・機器の高度さが強く支持されている
- ⑤ 医療観光普及課題認識は、上記実施理由同様、日本意向層は他国意向層全般的に回答率が高く、且つ、「国際認証」「医療サービスの特徴」「医療観光の認知拡大」「アレンジ事業者」が課題となっている。

以上の結果から、今後、中国からの日本への医療観光誘客に向けては、日本への医療観光誘引のコアターゲットとして「40・50代、女性、年収20万元超、民間会社役員・経営層」が該当し、医療観光意向度は、他国意向層よりも日本意向層の方が高く、日本意向層の実施に向けた真剣度はより高いと考えられ、そうした現状の有利なポジションを生かすべく、早期に誘客に向けた施策の展開が必要である。

また、日本意向層の医療観光の目的は、「健診」よりも「療養」にあり、療養プログラムの開発・整備(例 疾患別・グレード別等)が必要となる。

さらに、日本意向層の医療観光の実施理由は、「治療・検査の技術・機器の高度さ」に関するものが上位理由に挙げられており、療養の中で、そうした高度技術・機器へのニーズへ対応したプログラムの整備が必要である。「健診よりも療養」「高度技術・機器の提供」の実現は結果的に日本の医療観光の特徴の明確化にも寄与するものと考えられる。

したがって、今後、我が国における中国からの医療ツーリズム インバウンドの本格的な導入促進に向けては、日本意向層から、中国人向けには、「高度医療」「先進医療」を日本の強みとして訴求・対応すべきであり、さらに導入を推進するためには、安心・安全の保障である国際認証の取得やアレンジ事業者の整備が必要である。

6. 医療ツーリズム実施意向度と実施理由の相関関係(重回帰分析)

(1)調査概要

中国における医療観光の実施意向度と実施理由の相関関係を見るために、目的編集を「医療観光実施意向度」、説明変数を「医療観光の実施理由」として、日本への医療観光意向者と非意向者の2層間比較を行った。

(2)投入変数の概要

- 目的変数: 医療観光実施意向度
 - ・日本意向層と非意向層を比較すると、日本意向層の方が医療観光実施意向が高い。
- 説明変数: 医療観光実施理由
 - ・日本意向層と非意向層を比較すると、日本意向層の方が全般的に回答率が高 く、上記実施意向レベルの高さを反映しているものの、評価傾向(パターン) には顕著な差はない。
- 解析方法: 重回帰分析(ステップワイズ法)

(3)総当り法による目的変数と説明変数の関係把握

目的変数と説明変数の関係を把握するために、総当たり法による分析を行った結果、日本意向者では、「Q7.6 高度な治療機器があると思う」「Q7.7 高度な検査機器があると思う」「Q7.15 行ってみたい観光スポットが多いと思う」が欠落し、また、日本非意向者では「Q7.1 医師の治療・技術が高いと思う」「Q7.3 検査技師のレベルが高いと思う」「Q7.4 医師・医療機器などの医療技術が上と思う」が欠落しており、意向層・非意向層間には差異があることが分かった。

また、相関係数上位を占める要因についても、日本意向者においては、「Q7.2 看護師のホスピタリティが高いと思う」「Q7.16 食事が美味しいと思う(医療機関以外)」「Q7.5 がんや脳・心臓疾患等重篤な疾病の治療技術が高いと思う」である一方、日本非意向者では、「Q7.10 医療機関には長期滞在用の施設が充実していると思う」「Q7.17 充実したショッピングが楽しめると思う」「Q7.9 健診プログラムが充実していると思う」が上位を占めており、意向層・非意向層間には差異があることが分かった。(図表 13 参照)

図表 13. 総当たり法による目的変数と説明変数の関係把握

	日本意向	日本非意向者
	者(n=263)	(n=559)
Q7.1医師の治療・技術が高いと思う	8	×
Q7.2看護士のホスピタリティが高いと思う	1	11
Q7.3検査技師のレベルが高いと思う	6	×
Q7.4医師・医療機器などの医療技術が上と思う	12	×
Q7.5がんや脳·心臓疾患等重篤な疾病の治療技術が高いと思う	3	8
Q7.6高度な治療機器があると思う	×	13
Q7.7高度な検査機器があると思う	×	6
Q7.8医療サービスを受ける際に順番待ちがないと思う	×	×
Q7.9健診プログラムが充実していると思う	15	3
Q7.10医療機関には長期滞在用の施設が充実していると思う	5	1
Q7.11医療機関には長期滞在用のソフトが充実していると思う	14	10
Q7.12医療機関で提供される飲食物が充実していると思う	9	4
Q7.13医療機関での中国語コミュニケーションに支障がないと思う	11	9
Q7.14ついでに観光しながら、健康診断・療養ができる	10	7
Q7.15行って見たい観光スポットが多いと思う	×	12
Q7.16食事が美味しいと思う(医療機関以外)	2	14
Q7.17充実したショッピングが楽しめると思う	7	2
Q7.18医療費が中国より安いと思う	4	15
Q7.19勤務先の経費を活用できる	13	5

(4) ステップワイズ法による目的変数と説明変数の関係把握

上記の結果から、さらに問題のある相関や、検定値の低い変数を落とし、特に課題認識の高く促進要因となり得る有意な変数を選択するために増減法(ステップワイズ法)を用いた重回帰分析を行った。その結果、日本意向者については「Q7.8 医療サービスを受ける際に順番待ちがないと思う」、また、非意向者については「Q7.1 医師の治療・技術が高いと思う」といった符号条件を満たさない要因が存在し、更なる変数選択の必要性があることが分かった。(図表 14、15 参照)

図表 14. 日本意向者 (n=263) [重回帰式] 目的編集 QQ2Mdcl-T 利用意向

説明変数名	偏回帰 係数	標準偏 回帰係数	F値	P値	判定	符号 チェック
Q7.2 看護師のホスピタリティが高いと思う	0.1346	0.1864	7.0163	0.0086	[**]	
Q7.18 医療費が中国より安いと思う	0.0780	0.1616	6.7983	0.0097	[**]	
Q7.5 がんや脳・心臓疾患等重篤な疾病に治療技術が高いと思う	0.1173	0.1507	5.5020	0.0198	[*]	
Q7.19 勤務先の経費を活用できる	0.0606	0.1242	4.5087	0.0347	[*]	
Q7.10 医療機器には長期滞在用の施設が充実していると思う	0.0972	0.1111	3.2002	0.0748	[]	
Q7.8 医療サービスを受ける際に順番待ちがないと思う	-0.0932	-0.1346	4.0485	0.0453	[*]	×
Q7.16 食事が美味しいと思う(医療機関以外)	0.0723	0.1075	2.3470	0.1268	[]	
定数項	3.4068					

0.4667 0.7068

図表 15. 日本非意向者 (n=559) [重回帰式] 目的編集 QQ2Mdcl-T 利用意向

説明変数名	偏回帰 係数	標準偏 回帰係数	F値	P値	判定	符号 チェック
Q7.10 医療機器には長期滞在用の施設が充実していると思う	0.1197	0.1507	7.8387	0.0053	[**]	
Q7.17 充実したショッピングが楽しめると思う	0.1236	0.1728	14.6702	0.0001	[**]	
Q7.19 勤務先の経費を活用できる	0.0766	0.1409	10.9625	0.0010	[**]	
Q7.9 健診プログラムが充実していると思う	0.1111	0.1321	5.7765	0.0166	[*]	
Q7.1 医師の治療・技術が高いと思う	-0.0806	-0.1009	3.5945	0.0585	[]	×
定数項	3.9648					

 $0.3503 \qquad 0.4956$

(5) 符号条件未達変数除外&ステップワイズ法による目的変数と説明変数の 関係把握

そこで、日本意向者・非意向者とも、前述の符号条件を満たさない要因を除外し、改めてステップワイズ法で解析した結果、重回帰分析の基礎的要件を満たす良好な結果が得られた。

■ 日本意向者の解析結果評価

5 変数での目的変数に対する影響力は、概ね 70%を超え、「Q7.2 看護師のホスピタリティが高いと思う」と「Q7.18 医療費が中国より安いと思う」が 2 大要因となっていることが明らかとなった。解析精度は重相関係数で 0.48 であり、中程度の関係性があるといえる。(図表 16 参照)

図表 16. 日本意向者 (n=263) [重回帰式]目的編集 QQ2Mdcl-T 利用意向

説明変数名	偏回帰 係数	標準偏 回帰係数	F値	P値	判定	符号 チェック
Q7.2 看護師のホスピタリティが高いと思う	0.1252	0.1734	7.0559	0.0084	[**]	
Q7.18 医療費が中国より安いと思う	0.0791	0.1639	7.6863	0.0060	[**]	
Q7.5 がんや脳・心臓疾患等重篤な疾病に治療技術が高いと思う	0.1148	0.1475	5.3087	0.0220	[*]	
Q7.19 勤務先の経費を活用できる	0.0625	0.1281	4.8032	0.0293	[*]	
Q7.10 医療機器には長期滞在用の施設が充実していると思う	0.1020	0.1166	3.5590	0.0604	[]	
定数項	3.2985					

 $0.4836 \qquad 0.7295$

■日本非意向者の解析結果評価

3変数での目的変数に対する影響力は、40%を若干上回る程度で、「Q7.17 充実したショッピングが楽しめると思う」が最大要因となっており、「Q7.10 医療機器には長期滞在用の施設が充実していると思う」にも有意な判定が得られた。(図表 17 参照)

解析精度は重相関係数で 0.33 であり、弱い関係性があるといえる。

図表 17. 日本非意向者 (n=559) [重回帰式] 目的編集 QQ2Mdcl-T 利用意向

説明変数名	偏回帰係 数	標準偏回 帰係数	F値	P値	判定	符号f ェック
Q7.17 充実したショッピングが楽しめると思う	0.1248	0.1813	8.1870	0.0046	[**]	
Q7.10 医療機器には長期滞在用の施設が充実していると思う	0.1413	0.1627	6.3454	0.0124	[**]	
Q7.19 勤務先の経費を活用できる	0.0585	0.1025	2.4310	0.1202	[]	
定数項	4.1473					

 $0.3246 \qquad 0.4465$

考 察

重回帰分析実施にあたり、投入変数(医療観光実施意向度・医療観光実施理由)を日本 意向層及び非意向層で2層間比較した際には、実施意向度において日本意向層の高さが明 らかとなったが、実施理由については、2層間で回答率水準には顕著な違いが明らかとな ったものの、回答傾向の違い(2層間での実施理由の違いの意)は見出せなかった。

しかし、日本意向層・非意向層各々に分けて重回帰分析を行った結果、医療観光実施理 由には両層間に顕著な違いがあることが明らかとなった。

日本意向層では、「Q7.2 看護師のホスピタリティが高いと思う」「Q7.18 医療費が中国より安いと思う」「Q7.5 がんや脳・心臓疾患等重篤な疾病に治療技術が高いと思う」の寄与度が強いのに対して、非意向者では「Q7.17 充実したショッピングが楽しめると思う」の寄与度が強い結果であった。

一方、両層に共通した要因として「Q7.10 医療機関には長期滞在用の施設が充実していると思う」「Q7.19 勤務先の経費が活用できる」が上げられる。

以上の結果から、日本意向層では、医療観光の中で特に医療技術の高さを評価し軸足を 置いているのに対し、日本以外の国を意向する層では、観光ツアーの要因に軸足が置かれ ていることが窺える。

アジア主要国の中でわが国の医療観光は、未だ発展途上ではあるが、日本が他国より「メ ディカル」イメージを強く持たれていることは評価すべき状況と言える。

日本意向層からは、「重篤疾病の治療技術」が評価されていることから、中国人向けには、「高度医療」「先進医療」を日本の強みとして訴求・対応すべきものと推察される。

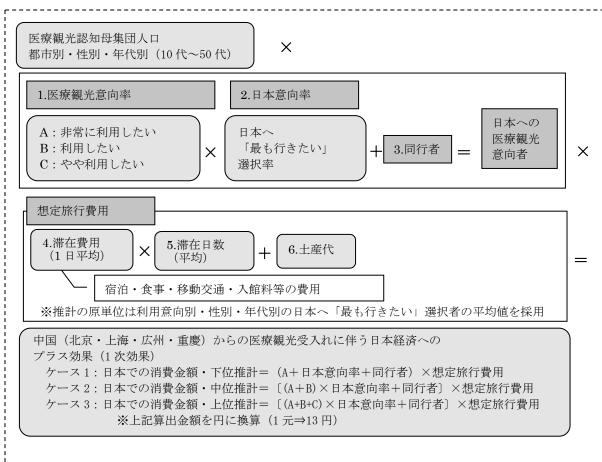
また、「看護師のホスピタリティの高さ」は上記の要因以上に評価されており、質の高い医療と質の高い医療サービスを両輪とすることが他国との差別化となり、中国人に対する医療観光拡大に寄与するものと推察される。

6. 我が国への経済効果分析

産業連関分析による経済波及効果分析(推計)

■推計値の算出方法

上記中国消費者への調査結果より日本への医療観光意向者の滞在期間中の支出金額 (医療関係支出以外)を以下のフレームにより算出した。



- 1.医療観光意向者数: 調査が対象とした母集団人口(医療観光認知母集団)は、全体で約2,800万人である。この中で医療観光意向者は「やや利用したい層」(A+B+C)まで含めると、対象人口の約8割の2,200万人に及ぶ。
 - 「利用したい層」 (A+B) までで同 55%の 1,520 万人、「非常に利用したい層」 (A) は同 24%で 660 万人である。
- 2. 日本意向者数 : 上記意向者の内、日本意向者(最も行きたい国として日本選択者) に絞ると、A層: 175 万人、A+B層 438 万人、A+B+C層 648 万人となる。
- 3. 同行者の加算 : 日本意向者における、想定同行者数を加算すると、A 層:334 万人、A+B 層 830 万人、A+B+C 層 1,190 万人に増加する。
- 4. 観光部分での一日当り支出金額 : 日本意向者の平均金額は、最も低い北京 40 代女で 1,300 元、最も高い上海 50 代女で 5,000 元である。
 - ① 観光部分の滞在日数 : 日本意向者の想定滞在日数は、最も短い上海 50 代女で 3.5 日、最も長い上海 40 代女で 18.3 日である。
 - ② お土産代: お土産代については、同行者分も発生することが想定されるものの、本推計では、調査結果として得られた本人回答分のみに限定した。 日本意向者のお土産代の平均金額は、最も低い広州 20 代男性で 1,500 元、最も高い上海 50 代女性で 5,000 元で、概ね滞在費の一日分と同程度である。

推計結果

北京・上海・広州・重慶4市からの医療観光誘引による観光需要を、上記算定式に投入し、約19億円~約70億円の一次効果が見込ま れるという結果が得られた。

今回の調査結果を原単位として、医療観光実施時<u>の日本での消費金額を上記で示した3つのケースで推</u>計し、観光需要からの産業連関分 上位推計=6,994百万円 · ケース 3: ・ケース 2: 中位推計=4,780 百万円 析に投入可能な費目に分解すると下表のような金額となる。 下位推計=1,990 百万円 · *ケ*ース 1:

		お 十 瀬	219,233	24,959	3,851	2,152	3,009	5,709	1,459	1,634	3,802	68,373	4,052	9,422	6,050	0 7	94422	10.495	6,657	33,768	1,339	2,609	5,431	4,001	1,572	7,562	6,618	92,132	4,149	6,708	18,834	12,858	4,846	9,044	16,998
	向者	E:その他 7 (通訳・ガイド・マッサーバ・マッサージ 等)	1,342,882	151,166	19,169	11,296	10,161	37,636	5,632	4,424	45,593	457,941	17,045	50,081	26,824	0 1	187 785	66,224	35,858	194,929	7,414	12,735	36,113	30,686	6,845	44,1/4	17.372	538,846	23,878	32,550	94,986	103,580	26,088	46,013	80,368
	:(A+B+C)×a意	D:入館 E 料等エン (() タメ費用 イタメ費用 オーチャー・サード・サード・サード・サード・サード・サード・サード・サード・サード・サー	1,393,116 1	152,864	21,641	10,526	9,506	13,095	10,746	4,657	38,988	424,930	17,954	61,455	34,769	0 10	130 683	81.063	29,881	198,126	10,070	15,492	33,304	24,855	12,296	46,641	26,058	617,197	39,471	35,189	134,474	113,938	39,698	55,064	67,980
)	(千円)	C:移動 交通費 本 タ		100,289	10,772	7,372	8,217	23,296	5,373	3,354	30,402	305,652	11,563	44,713	27,746	0 21	37,772	44.873	17,929	160,258	5,884	688'6	34,419	20,866	6,438	30,768	26,058	489,925	20,395	25,406	98,006	103,580	22,619	40,767	67,980
	費目別支出額	○ 校	,358,447 1,	131,835	16,255	9,527	11,730	31.586	7,801	5,076	29,736	418,206	18,263	55,478	33,100	0 0	58,739	76,117	17,929	26,847	7,835	12,673	57,558	15,957	7,193	45,594	34.744				123,477	98,401	28,396	49,062	86,524
		6. 首 出 二 二 二 二 二	,623,932 1,3	183,328	20,458	14,734	14,518	27,469	10,312	6,705		559,136 4	23,435	78,429	51,406	0 0	217 560	87,575	17,929		10,033	18,117	53,055	30,379	12,468	65,539	69,487		33,927		118,918	98,401	40,169	53,063	67,980
/	Ļ	V 割	1,6	_								2					•			ဗ								2			_				
		お 七 華	147,680	17,298	2,248	1,598	2,008	3,759	1,076	1,089	3,459	50,684	3,002	5,651	4,775	0 0	18 544	5,988	6,657	25,437	1,084	2,236	4,285	4,001	1,136	2,881	3,309	54,261	2,983	3,657	10,049	5,143	3,356	4,717	5,660
	×a惹向者	E:かの (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	934,140	111,001	11,190			9,589	4,151	2,947	41,470	341,886	12,627		21,168	0 5	142 592	1	35,858	154,016	6,001	10,918	28,494	30,686			8,686	327,237	17,169	Γ	50,680			23,998	26,762
	(A+B)	D:入館 料等 L ンタメ費 用	920,026	111,310	-		6,342	1			35,461	310,611			27,438	0	97,648	ı	29,881	152,985	8,150	13,281		٧,			13.029	375,120	28,380	19,186		45,575		۲	22,637
	出額(千円)	O :移 函 通	713,568	73,879			5,483				27,652	224,235			21,895		91,501	ı		12	4,763			2		23,931		7	14,664		Ш	41,432		- 1	22,637
	費目別支出額	田 : 年 章	919,949	93,980				22,185				303,686			26,121		120 416	_	17,929	17	6,341	10,865				35,462		က	21,954	17,972	65,881				28,812
	4	A :宿治	1,115,137	130,928	11,942	10,945	9,686	34.348	7,600	4,467	36,673	407,120	17,361	47,039	40,567		165 201	49 968	17,929	225,056	8,120	15,532	41,860	30,379	9,007	50,975	34,744	352,034	24,394	21,192	63,448	39,361	27,818	27,676	22,637
/	一 17		33	2	32	929	905	583	312	700	344	6	0	=	က္ကု	Ol:	27	14	33	6	4	932	98	0	4 2	- Is	<u> </u>	0	99	1,586	6,278	72	듸	32	ગુ૦
		Hei	78	5,95	,285	9	6	22	46	\approx	37	696'6	1,050	2,51	1,589	3	3,437	2,994	4,993	7,289	414	6	1,998		394	2,521	<u> </u>	57	22	ı×	2	2,57	1,121	3,535	12,023
	МШ	の / シジ	08 61,783		397 1	250	356							343	045	0 5	727	393	393	698	294	220	290	0	713	627		191 28,570	Ш	Ĺ					\bot
	١×a薏向者	に 出 記 に と に 出 記 に 他 に 他 に に に に か に に か か か か か か か か か	386,008	31,956		308 3,550		11 153 1	1,780	1,895	4,124	131,722	4,418	_	131 7,045	┙			411 26,893	Ĺ	115 2,294		256 13,290			54 / 14, /25	0, 0	176,961	8,379	7,696	31,662	20,716	6,034	17,983	04,490
	(千円):A×a意	D:入館 E:その 料等 L 他(通 ンタメ費 訳・ガイ 用 ド・マッ サージ 新	412,827 386,008	35,259 31,956	7,223	3,308	2,859	12 952 11 153 1	3,396 1,780	1,995 1,895	3,526 4,124	1 126,526 131,722	4,653 4,418	16,374	9,131	0	32,664	23.126	22,411	46,066	3,115	5,535	12,256	0	3,078	15,547	0,730	204,976 176,961	13,851 8,379	8,320 7,696	44,825 31,662	22,788 20,716	9,182 6,034	21,520 17,983	64,490 64,490 0 0
	支出額(千円):A×a意向者	C:移動 D:入館 E:その 交通費 料等工 他(通 ンタメ費 訳・ガイ 用 ド・マッ サージ	1 299,149 412,827 386,008	7 21,172 35,259 31,956	3,595 7,223	2,317 3,308	2,472 2,859	6 903 12 952 11 153 1	1,698 3,396 1,780	1,437 1,995 1,895	2,750 3,526 4,124	83,121 126,526 131,722	2,997 4,653 4,418	11,913 16,374 1	7,287 9,131	0 0 0 0	16 827 18 165	12.802 23.126	13,447 22,411	35,651 46,066	1,820 3,115	3,533 5,535	12,666 12,256 1	0 0	1,611 3,078	10,256 15,547	0 0 0	159,205 204,976 176,961	7,157 13,851 8,379	6,007 8,320 7,696	32,669 44,825 31,662	20,716 22,788 20,716	5,232 9,182 6,034	15,933 21,520 17,983	0 0 0 0
	(千円):A×a意	食事 C:移動 D:入館 E:その 交通費 料等工 他(通 ンタメ費 訳・ガイ 用 ド・マッ 用 ド・マッ	412,827 386,008	35,259 31,956	3,595 7,223	3,308	2,472 2,859	12 952 11 153 1	1,698 3,396 1,780	1,437 1,995 1,895	2,750 3,526 4,124	1 126,526 131,722	4,653 4,418	11,913 16,374 1	9,131	0 0 0 0	32,664	12.802 23.126	13,447 22,411	46,066	3,115	3,533 5,535	12,256	0 0	1,611 3,078	15,547	0 0 0	204,976 176,961	13,851 8,379	8,320 7,696	44,825 31,662	20,716 22,788 20,716	5,232 9,182 6,034	15,933 21,520 17,983	64,490 64,490 0 0
	目別支出額(千円):A×a意	C:移動 D:入館 E:その 交通費 料等工 他(通 ンタメ費 訳・ガイ 用 ド・マッ サージ	1 299,149 412,827 386,008	7 21,172 35,259 31,956	3 5,425 3,595 7,223	2,994 2,317 3,308	3,528 2,472 2,859	6 903 12 952 11 153 1	2,465 1,698 3,396 1,780	2,174 1,437 1,995 1,895	2,750 3,526 4,124	83,121 126,526 131,722	4,733 2,997 4,653 4,418	14,781 11,913 16,374 1	7,287 9,131	0 0 0 0	16 827 18 165	21,715 12,802 23,126	13,447 13,447 22,411	35,651 46,066	1,820 3,115	3,533 5,535	12,666 12,256 1	0 0	1,800 1,611 3,078	15,198 10,256 15,547	0 0 0	159,205 204,976 176,961	7,157 13,851 8,379	6,007 8,320 7,696	32,669 44,825 31,662	19,680 20,716 22,788 20,716	6,568 5,232 9,182 6,034	15,933 21,520 17,983	0 0 0 0 0
	目別支出額(千円):A×a意	A:宿泊B:食事 C:移動 D:入館 E:その 費 代 交通費 料等工 他(通 ンタx費 駅・ガイ 用 ド・マッ サージ 第	1 443,688 387,111 299,149 412,827 386,008	1 40,069 28,637 21,172 35,259 31,956	5 6,828 5,425 3,595 7,223	4,631 2,994 2,317 3,308	4,367 3,528 2,472 2,859	14 465 9 360 6 903 12 952 11 153 1	3,259 2,465 1,698 3,396 1,780	2,872 2,174 1,437 1,995 1,895	3,647 2,689 2,750 3,526 4,124	9 148,271 113,169 83,121 126,526 131,722	1 6,074 4,733 2,997 4,653 4,418	7 20,897 14,781 11,913 16,374 1	5 13,501 8,693 7,287 9,131	0 0 0 0 0 0	30,127 27,756 17,849 32,664	24 984 21 715 12 802 23 126	13,447 13,447 22,411	64,191 55,197 35,651 46,066	3,104 2,424 1,820 3,115	2 6,474 4,528 3,533 5,535	1 19,524 21,182 12,666 12,256 1	0 0 0	3 3,121 1,800 1,611 3,078	10 121,846 15,198 10,256 15,547	0 0 0 0 0	9 191,157 190,108 159,205 204,976 176,961	11,906 10,715 7,157 13,851 8,379	9,190 7,793 6,007 8,320 7,696	9 39,639 41,159 32,669 44,825 31,662	19,680 19,680 20,716 22,788 20,716	6 9,291 6,568 5,232 9,182 6,034	20,738 19,175 15,933 21,520 17,983	0,113 63,013 71,492 64,490 64,490
	;千円) 費目別支出額(千円):A×a意	(A+B+C) A:宿泊 B:食事 C:移動 D:入館 E:その x a 意向	[6,993,851 443,688 387,111 299,149 412,827 386,008	744,441 40,069 28,637 21,172 35,259 31,956	92,145 6,828 5,425 3,595 7,223	55,613 4,631 2,994 2,317 3,308	57,141 4,367 3,528 2,472 2,859	93,154 U U U U U U U U U U U U U U U U U U U	41,319 3,259 2,465 1,698 3,396 1,780	25,850 2,872 2,174 1,437 1,995 1,895	1 188,841 3,647 2,689 2,750 3,526 4,124	2,234,329 148,271 113,169 83,121 126,526 131,722 ⁻	92,321 6,074 4,733 2,997 4,653 4,418	299,577 20,897 14,781 11,913 16,374 1	179,895 13,501 8,693 7,287 9,131	0 0 0 0 0 0	329,837 39,127 27,756 17,849 32,664 34,057 18,165	366.348 24.984 21.715 12.802 23.126	126,183 13,447 13,447 13,447 22,411	1,118,591 64,191 55,197 35,651 46,066	42,576 3,104 2,424 1,820 3,115	7 71,522 6,474 4,528 3,533 5,535	219,881 19,524 21,182 12,666 12,256 1	126,744 0 0 0 0 0	3,121 1,800 1,611 3,078	240,301 21,846 15,198 10,256 15,547	190,419	2,896,489 191,157 190,108 159,205 204,976 176,961	152,368 11,906 10,715 7,157 13,851 8,379	171,683 9,190 7,793 6,007 8,320 7,696	588,639 39,639 41,159 32,669 44,825 31,662	530,760 19,680 19,680 20,716 22,788 20,716	1 161,816 9,291 6,568 5,232 9,182 6,034	253,013 20,738 19,175 15,933 21,520 17,983	387,868 00,713 03,019 71,492 04,490 04,490 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	(1元・13円・千円) 費目別支出額(千円):A×a意	(A+B+C) A:宿泊 B:食事 C:移動 D:入館 E:その x a 意向	1 443,688 387,111 299,149 412,827 386,008	538,395 744,441 40,069 28,637 21,172 35,259 31,956	53,790 92,145 6,828 5,425 3,595 7,223	41,312 55,613 4,631 2,994 2,317 3,308	38,124 57,141 4,367 3,528 2,472 2,859	133 962 190 378 14465 9 360 6 903 12 952 11 153 1	30,454 41,319 3,259 2,465 1,698 3,396 1,780	17,220 25,850 2,872 2,174 1,437 1,995 1,895	171,761 188,841 3,647 2,689 2,750 3,526 4,124	9 148,271 113,169 83,121 126,526 131,722	68,393 92,321 6,074 4,733 2,997 4,653 4,418	179,678 299,577 20,897 14,781 11,913 16,374 1	141,963 179,895 13,501 8,693 7,287 9,131	0 0 0 0 0 0 0	275,075 329,837 39,127 27,756 17,849 32,664 37,657 627,970 747 18,165	209 028 366 348 24 984 21 715 12 802 23 126	126,183 126,183 13,447 13,447 13,447 22,411	850,847 1,118,591 64,191 55,197 35,651 46,066	34,458 42,576 3,104 2,424 1,820 3,115	61,317 71,522 6,474 4,528 3,533 5,535	173,486 219,881 19,524 21,182 12,666 12,256 1	126,744 0 0 0 0 0	33,818 46,813 3,121 1,800 1,611 3,078	186,901 240,301 21,846 15,198 10,256 15,547	90.168 180.337 0 10,129 0,703 0,709 0,790	1,753,055 2,896,489 191,157 190,108 159,205 204,976 176,961	109,555 152,368 11,906 10,715 7,157 13,851 8,379	93,605 171,683 9,190 7,793 6,007 8,320 7,696	314,066 588,639 39,639 41,159 32,669 44,825 31,662	212,304 530,760 19,680 19,680 20,716 22,788 20,716	112,061 161,816 9,291 6,568 5,232 9,182 6,034	131,961 253,013 20,738 19,175 15,933 21,520 17,983	050,343 050,343 05,713 05,019 71,492 64,490 04,490 120,160 387,868 0 0 0 0 0 0 0
	;千円) 費目別支出額(千円):A×a意	(A+B) ×a (A+B+C) A:宿泊 B:食事 C:移動 D:入館 E:その 意向者 ×a意向 費 高向者 ×a意向 者 者 市 アンタメ費 訳・ガイ 用 ドマッ サージ 等	[6,993,851 443,688 387,111 299,149 412,827 386,008	744,441 40,069 28,637 21,172 35,259 31,956	53,790 92,145 6,828 5,425 3,595 7,223	41,312 55,613 4,631 2,994 2,317 3,308	57,141 4,367 3,528 2,472 2,859	93,154 U U U U U U U U U U U U U U U U U U U	30,454 41,319 3,259 2,465 1,698 3,396 1,780	17,220 25,850 2,872 2,174 1,437 1,995 1,895	1 188,841 3,647 2,689 2,750 3,526 4,124	2,234,329 148,271 113,169 83,121 126,526 131,722 ⁻	68,393 92,321 6,074 4,733 2,997 4,653 4,418	179,678 299,577 20,897 14,781 11,913 16,374 1	179,895 13,501 8,693 7,287 9,131	0 0 0 0 0 0 0	329,837 39,127 27,756 17,849 32,664 34,057 18,165	209 028 366 348 24 984 21 715 12 802 23 126	126,183 13,447 13,447 13,447 22,411	1,118,591 64,191 55,197 35,651 46,066	42,576 3,104 2,424 1,820 3,115	7 71,522 6,474 4,528 3,533 5,535	219,881 19,524 21,182 12,666 12,256 1	0 126,744 126,744 0 0 0 0 0	33,818 46,813 3,121 1,800 1,611 3,078	186,901 240,301 21,846 15,198 10,256 15,547	190,419	2,896,489 191,157 190,108 159,205 204,976 176,961	152,368 11,906 10,715 7,157 13,851 8,379	171,683 9,190 7,793 6,007 8,320 7,696	314,066 588,639 39,639 41,159 32,669 44,825 31,662	212,304 530,760 19,680 19,680 20,716 22,788 20,716	112,061 161,816 9,291 6,568 5,232 9,182 6,034	131,961 253,013 20,738 19,175 15,933 21,520 17,983	387,868 00,713 03,019 71,492 04,490 04,490 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	(1元・13円・千円) 費目別支出額(千円):A×a意	×a(A+B+C) A: 宿泊 B: 食事 C:移動 D: 入館 E: その xa意向 大a意向 費 代 交通費 料等工 他(通 子) を通費 別・方々費 別・方々 費 別・方々 費 別・方々 費 別・方々 費 別・方々 費 別・カイ 用 ド・マッ 第・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 4,780,587 6,993,851 443,688 387,111 299,149 412,827 386,008	538,395 744,441 40,069 28,637 21,172 35,259 31,956	30,753 53,790 92,145 6,828 5,425 3,595 7,223	17,478 41,312 55,613 4,631 2,994 2,317 3,308	17,188 38,124 57,141 4,367 3,528 2,472 2,859	133 962 190 378 14465 9 360 6 903 12 952 11 153 1	13,059 30,454 41,319 3,259 2,465 1,698 3,396 1,780	17,220 25,850 2,872 2,174 1,437 1,995 1,895	171,761 188,841 3,647 2,689 2,750 3,526 4,124	1 1,638,290 2,234,329 148,271 113,169 83,121 126,526 131,722	23,927 68,393 92,321 6,074 4,733 2,997 4,653 4,418	79,819 179,678 299,577 20,897 14,781 11,913 16,374 1	47,245 141,963 179,895 13,501 8,693 7,287 9,131	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	275,075 329,837 39,127 27,756 17,849 32,664 37,657 627,970 747 18,165	104.514 209.028 366.348 24.984 21.715 12.802 23.126	94,637 126,183 126,183 13,447 13,447 13,447 22,411	253,774 850,847 1,118,591 64,191 55,197 35,651 46,066	720代 13,170 34,458 42,576 3,104 2,424 1,820 3,115	<30년 25,556 61,317 71,522 6,474 4,528 3,533 5,535	80,916 173,486 219,881 19,524 21,182 12,666 12,256 1	0 126,744 126,744 0 0 0 0	11,717 33,818 46,813 3,121 1,800 1,611 3,078	186,901 240,301 21,846 15,198 10,256 15,547	0 90,168 180,337 0 0 0 0 0 0 0 0	1,753,055 2,896,489 191,157 190,108 159,205 204,976 176,961	109,555 152,368 11,906 10,715 7,157 13,851 8,379	93,605 171,683 9,190 7,793 6,007 8,320 7,696	314,066 588,639 39,639 41,159 32,669 44,825 31,662	106,152 212,304 530,760 19,680 19,680 20,716 22,788 20,716	37,428 112,061 161,816 9,291 6,568 5,232 9,182 6,034	98,883 131,961 253,013 20,738 19,175 15,933 21,520 17,983	050,343 050,343 05,713 05,019 71,492 64,490 04,490 120,160 387,868 0 0 0 0 0 0 0
	(1元・13円・千円) 費目別支出額(千円):A×a意	(A+B) ×a (A+B+C) A:宿泊 B:食事 C:移動 D:入館 E:その 意向者 ×a意向 費 高向者 ×a意向 者 者 市 アンタメ費 訳・ガイ 用 ドマッ サージ 等	7 4,780,587 6,993,851 443,688 387,111 299,149 412,827 386,008	163,048 538,395 744,441 40,069 28,637 21,172 35,259 31,956	/20代 30,753 53,790 92,145 6,828 5,425 3,595 7,223	730ft 17,478 41,312 55,613 4,631 2,994 2,317 3,308	17,188 38,124 57,141 4,367 3,528 2,472 2,859	7.504\(\frac{1}{2}\) \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	13,059 30,454 41,319 3,259 2,465 1,698 3,396 1,780	/40代 11,073 17,220 25,850 2,872 2,174 1,437 1,995 1,895	750ft 17,080 171,761 188,841 3,647 2,689 2,750 3,526 4,124	1 1,638,290 2,234,329 148,271 113,169 83,121 126,526 131,722	/ 男性/20代 23,927 68,393 92,321 6,074 4,733 2,997 4,653 4,418	79,819 179,678 299,577 20,897 14,781 11,913 16,374 1	/ 男性/40代 47,245 141,963 179,895 13,501 8,693 7,287 9,131	/ 男性/50代 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	155,862 275,075 32,837 39,127 27,756 17,849 32,664	/女性/40代 104514 209028 366348 24.984 21.715 12.802 23.126	/女性/50代 94,637 126,183 126,183 13,447 13,447 13,447 22,411	\$\frac{1}{2}\$ \$1	13,170 34,458 42,576 3,104 2,424 1,820 3,115	<30년 25,556 61,317 71,522 6,474 4,528 3,533 5,535	80,916 173,486 219,881 19,524 21,182 12,666 12,256 1	ノ男性/50代 0 126,744 126,744 0 0 0 0 0	720ft 11,717 33,818 46,813 3,121 1,800 1,611 3,078	80,100 186,901 240,301 21,846 15,198 10,256 15,547	700	1,753,055 2,896,489 191,157 190,108 159,205 204,976 176,961	53,469 109,555 152,368 11,906 10,715 7,157 13,851 8,379	✓30代 40,592 93,605 171,683 9,190 7,793 6,007 8,320 7,696	/男性/40代 196,213 314,066 588,639 39,639 41,159 32,669 44,825 31,662	/50代 106,152 212,304 530,760 19,680 19,680 20,716 22,788 20,716	/女性/20代 37,428 112,061 161,816 9,291 6,568 5,232 9,182 6,034	7.30 1(*) 98.883 131,961 253,013 20,738 19,175 15,933 21,520 17,983	416,227 030,343 030,713 03,713 71,492 64,490 64,490 0 0 129,160 387,868 0 0 0 0 0 0 0

さらに、上記で算出した中国人の医療観光実施に伴う日本での消費金額

ケース1 : 19億円ケース2 : 48億円ケース3 : 70億円

を消費費目別に産業連関表 (34 部門・2005 年確報版) に投入することにより、その総合効果について以下のような結果が得られた。

ケース1

波及効果総括表(A×a意向者、全国連関表)

		1,991		(単位:百万円、人)				
	生 誘 発	産 額		加 価発	値額		業者数	
直接効果		3,393		1,	665		392	
直接+1 次波及効果		5,383		2,	635		688	
2次波及効果		1.562			847		104	
総合効果		6,945	\supset	3,	482		792	

ケース2

波及効果総括表((A+B)×a意向者、全国連関表)

需要金額 :			4,781					(単位	7:百	<u> 万円</u>	八人)
	生誘	発	産額	付	加発	価	値額	誘発	就	業	者数	Į
直接効果			8,147			4,0	013				96	0
直接+1次波及効果		1	12,927			6,	339				1,67	2
2次波及効果			3,749			2,0	053				264	4
総合効果			6.676			8.5	392				1.93	ñ

ケース3

波及効果総括表((A+B+C)×a意向者、全国連関表)

需要金額 :		6,994				(単位:百万円、人)
	生誘		粗付誘	加 価発	値額	誘発就業者数
直接効果		11,920		5,8	86	
直接+1次波及効果		18,913		9,2	91	2,452
2次波及効果		5,488		3,0	17	394
総合効果		24,401		12,3	08	2,846

経済波及効果分析結果

北京・上海・広州・重慶4市からの医療観光誘引による観光需要について、産業連関による経済波及効果分析を行った結果、それぞれのケースの総合効果は以下のとおりであった。

- ケース1の場合の総合効果は約70億円である。
- ケース 2 の場合の総合効果は約 167 億円である。
- ケース3の場合の総合効果は約244億円である。

上記4市から得られた結果から、さらに母集団人口を中国全土に引きなおし算定を行った。

	母集団人口	A×a 意向者	(A+B)×a 意向者	(A+B+C)×a 意向者
調査対象サンプル	1,000	63	157	232
本調査対象 4 市を対象とした場合	27,875,000	1,754,000	4,378,000	6,480,000
中国全体を対象とした場合	687,700,000	43,270,000	108,005,000	159,864,000

その結果中国からの医療観光受入れに伴う日本経済へのプラス効果(1次効果)は、

■ ケース1の場合の総合効果は1,713億円

波及効果総括表

需要金額 :		49,1	06				(単位:百万円、人)
	生誘	発	産額	付誘	加 価発	値 額	誘発就業者数
直接効果		83,6	92		41,	413	9,967
直接+1次波及効果		132,7	98		65,	312	17,287
2次波及効果		38,5	21		21,	257	2,871
総合効果		171,3	19		86,	569	20,158

■ ケース2の場合で4,276億円

波及効果総括表

需要金額 :		122,57	2			(単位:百万円、人)
	生誘		重 付額	加 価発	値額	誘発就業者数
直接効果		208,90	1	103,	393	24,902
直接+1次波及効果		331,47	3	163,	044	43,170
2次波及効果		96,15	1	53,	082	7,194
総合効果		427,62	4	216,	126	50,364

■ ケース3の場合で6,329億円

波及効果総括表

需要金額:		181,426			(単位:百万円、人)
	生誘		付誘		i 誘発就業者数
直接効果		309,206		153,04	8 36,871
直接+1次波及効果		490,631		241,34	2 63,910
2次波及効果		142,318		78,57	7 10,653
総合効果		632,949		319,91	9 74,563

の経済効果が見込まれるものとなった。

今後我が国への中国からの医療ツーリズムの導入は、医療産業のイノベーションに大きく貢献するものであり、今後の新たな医療政策として大いに期待されるものであると考える。

中国の医療は伝統的な漢方医療が主なため、西洋医学的な医療の進歩している日本に 比べ、手術後に長期の入院を要するといった事も考えられる。そのため、入院日数短縮 を目的として訪日する患者も期待できる。

ただし、国際間での競争となると、医療の提供側としても、質の良い医療行為を安価で提供する事が必要であり、患者などが来日しやすい入国条件や滞在環境等を用意できるかどうかという点が大きな課題である。

7. 福岡・九州における医療ツーリズム 導入・拡大の兆し

我が国の他国に対する圧倒的な強みは、(1)がん治療、(2)心臓外科、(3)消化器系の治療分野であり、先述の分析においても「高度医療」「先進医療」を日本の強みとして訴求・対応すべき結果が得られた。我が国も積極的に自国への外国人患者獲得の動きを強める必要がある。福岡・九州で先端医療が育つには医療機関や大学間、産学官の連携が重要なカギを握っ

ていると言える。福岡県には大学病院が4カ所あり、大きな基幹病院も多い。また、全国的にも有名な子ども病院・感染症センターがある。佐賀県鳥栖市には「九州国際重粒子線がん治療センター」の開設が予定されるなど、医療機関の数も質も非常に高いレベルの環境が整っている。

それぞれの地域の病院がその特徴を出しながら、最先端医療ネットワークを形成していくことが出来れば、統合的ながん治療、難病治療など最先端医療のクラスターを九州、福岡に構築するきっかけとなる。また、連携により世界の注目に値するような医療技術の成果が挙がれば、国内だけでなくアジア諸国、さらには世界からも多くの人が九州、福岡での治療を求めてやって来ることが期待される。

九州各県においては、既に地方自治体レベルでの医療ツーリズムへの取り組みが活発化 してきている。以下は各県の取り組み状況をまとまたものである。

県名	取り組みの状況
	・福岡県の「福岡・アジア新時代創造特区」では、福岡を「アジアの高度
福岡県	医療、健康、癒し拠点」と位置付け、医療の国際化という視点から検討
	が進められている。
	推進委員は6大学(2歯科大含む)の病院長、医師会、病院団体等である。
	・東南アジアを含め世界中から患者を受け入れている北九州市の
	小倉記念病院は、国内だけでなく海外の富裕層の患者にも対応
	できる約200㎡の特別室も備えている。
	・福岡県が提唱している「福岡・アジア国際戦略特区」では、ア
	ジア健康拠点の形成として、
	・中国富裕層をはじめアジアの人々に本県医療を提供するた
	め、多言語で対応する高度医療機関の整備を行う
	・アジアの高齢化に対応する「ふくおか健康未来都市構想」
	(福岡市・アイランドシティ) を推進する。
	と謳っており、これまで、
	・多言語対応高度医療機関整備のため官民による検討会を発
	足させ、アジアに提供する高度な医療分野や受入体制につ
	いて検討
	・NPO 法人「アジアン・エイジング・ビジネスセンター」を
	設立し、急速に高齢化するアジアに対して、日本の経験を
	活かした高齢化対応人材育成・ビジネス展開を推進
	・海外からの高齢者関連施設視察の積極的な受入(平成 21
	年度 265 人)を行っている。
	・高度医療を求める中国の富裕層らを積極的に受け入れるため、受け入れ
	窓口として「アジア医療サポートセンター」を設置。国が来日しやすい
	病気治療目的の医療滞在査証(医療ビザ)を新設したことを受け、アジ
	アに近い立地を生かそうとの考えである。
	・福岡市と釜山市で超広域経済圏の実現を目指し、両市間の医療
	観光や高度医療などの相互協力体制の構築に関する申し合わ
	せを行っている。

・佐賀県鳥栖市に2013年春の開設が予定されている「九州国際重 佐賀県 粒子線がん治療センター」は九州各県の大学病院や医療機関が 連携し、患者の治験を通して医療技術を高めていく施設を目指 している。新鳥栖駅前に兵庫以西で初めて炭素線で治療する「九州国 際重粒子線がん治療センター」ができ、他国からも来患できるような仕 掛けを考えるプロジェクトが進んでいる。 ・長崎市が2008年度から、がん検診を目玉とした観光誘致の実証実験とし てナガサキ・ウェルネス・ポート推進協議会のもと、主に中国人を受け 長崎県 入れる等の事業を実施していたが、2009年度で事業が終了したことに伴 い、その受け皿として「メディカルツーリズム推進協議会」を発足。 2010年5月16日に設立総会が開催され、10月23日に第2回協議会が開 催、 「中国人観光客の現状について」、「中国観光ビザの動向と代理店の動 き」、「具体例の提示」、「韓国におけるメディカルツーリズムの取り 組み」、「県内における医療提供についてのアンケート報告」等の報告 がなされた。 ・長崎市では2010年1月29日-2月1日、検診に観光を組み合わせたツアー の実証実験を行い、上海から9人が参加した。 事業の推進役を担ったのは、市や国際観光コンベンション協会、市商 工会議所、医療系ベンチャー「アンドメンタル」などで構成する「ナガ サキ・ウェルネス・ポート協議会」。 ツアー参加者からの評価は前向きなものが多く、実証事業を受けて同 市では、検診ツアーを本格的にスタートさせ、今後、九州地方の他県の 医療機関にも連携を呼び掛けることも検討している。 ターゲットは、個人ビザが昨年解禁された中国の中堅ビジネスマンや 富裕層。参加費には50万-60万円程度を想定している。ほかの検診ツア ーとの差別化を図るため、日本の経済や金融の最新事情を学ぶ「ビジネ ス研修」をプランに組み込むという。 ・長崎県佐世保市の大型リゾート施設ハウステンボスが2010年、滞在型の 医療観光施設「ホリスティックセンター ザ・ソアラ」をスタート。提

能本県

・2010年3月に「医療観光」について、医療関係者や旅行業者等による検討会が設置された。

供するのは西洋医学による一般的な現代医療ではなく、西洋医学と東洋

・医療観光の推進については、医療関係者や旅行業者等と専門用語に対応

医学などを組み合わせた「統合医療」である。

できる通訳の確保や検診後のフォローアップ体制の課題について精力的 に検討中。モニターツアーの実施などにより受け入れ体制を進め、本格 的な医療観光の確立を目指している。 また、医療の専門用語に対応できる通訳の確保も大きな課題として認 識しており、当面は、医療観光ツアーを運営する旅行会社の人的ネット ワークを活用し、医療分野や大学等の関係機関との連携による対応など を検討し、適切に対応するものとしている。 ・本県の県議会・行政は、医療観光を推進する姿勢であり、医療観光に向 けた体制の整備などを促進する方向である。 熊本が持つ充実した医療体制や観光ニーズの高まりを背景に、医療関 係者や旅行業者等による検討会を設置し、モニターツアーの実施に向け 専門用語に対応できる通訳の確保や検診後のフォロー体制などの課題に ついて精力的に検討を行っている状況である。 ・アジアの医療拠点として大分県・宮崎県による産官学連携構想案が県知 大分県 事より公表された。「研究開発」の産学官の連携と「医療産業」の産業 研究会の立ち上げ、その後「医療技術人材育成」のトレーニングセンタ 一の設置、そして「医療」の拠点づくりの順に進行する予定としている。 ・2011年11月6日東九州地域医療産業拠点構想推進大会を別府市で開催。 (宮崎では既に11月3日に延岡市で開催済み。) 日本全国、アジアにむ けて情報発信する。 ・2012年12月に大分県・宮崎県の申請した「東九州メディカルバレー構 想特区」が政府の総合特区に認定され医療産業の拠点化を推進し ている。 宮崎県は上記同様だが、産官学連携構想案宮崎県では県別研究会に宮 宮崎県 崎県医師会や宮崎県福祉保健部医療薬務課・健康増進課が加わってい るが、大分県は産業振興のかたちで進んでいる。医師会は入っていな いが、県医療政策課も薬務室がオブザーバーとしての参加となってい る。 ・2012年12月に大分県と共同申請した「東九州メディカルバレー構想 特区」が政府の総合特区に認定され医療産業の拠点化を推進して いる。

鹿児島県

- ・2010年、指宿市のメディポリス医学研究財団が同市東方のメディポリス 指宿内に建設を進めていたがん粒子線治療研究センターが完成。同セン ターは、粒子線を使い、がんを切らずに治療する九州で初の施設である。 施設には回転しながら患者に陽子線を照射する回転カントリー3基が設 置され、地下1階地上2階建て延べ床面積約6千平方メートル。
 - 今後、「医療と癒しの一大拠点」として国内客はもとよりアジア地域からの客誘致を強く働きかける。
- ・鹿児島県指宿市では地元ホテルの経営者が中心となり、健康をキーワードに砂むし温泉と食事、運動による新しいビジネスモデルの実証実験に取組んでいる。また、行政をはじめ、鹿児島大学医学部や鹿屋体育大学、医師会、栄養士会など健康増進に取組む産学官を巻き込み、鹿児島県健康保養地域活性化協議会を立ち上げて内閣府の「地方の元気再生事業」に「平成版IT湯治」として応募、2008年7月に採択された。ビジネスモデル特許も取得し、市内10件のホテル・旅館が参加、砂むしを中心とした保養滞在型観光地として発展を目指している。

その仕組みは、ホテル・旅館でベルト型の小型心電モニターを借り、 胸部につけて保養滞在を楽しむ。行動中のストレス変化が 30 分間隔で 記録され、インターネットで IT 湯治データセンターに送信される。そ の変化はパソコンの画面で見ることができるし、専門家のアドバイスも 受けられる。

この IT 湯治に、「がん粒子線治療研究センター」が加わる。鳥栖市の重粒子線がん治療に対し、こちらは陽子線を活用した治療施設である。標準的な陽子線の照射回数に伴う治療期間は1週間から5週間であり、健康増進サービスに加え、医療ツーリズムの可能性は大きい。

沖縄県

- ・沖縄県観光商工部が実施主体となり、医療ツーリズム促進事業を展開。 事業期間は平成22年度~24年度の3ヶ年(平成22年度事業費:48,306千円)。沖縄の多様な観光資源と検診や健康増進サービス、治療等を組み合わせた特色ある医療ツーリズムのあり方を明らかにするとともに、その実現戦略を構築することを目的としている。
- ・2010年度、医療ツーリズム戦略検討委員会を設置し、下記の取り組み等を行いつつ、そのあり方の検討を進めている。
 - ・国内外の政策や先進地の取り組み、市場状況等の整理
 - ・国外からの医療等を目的とする旅行者の受入体制を検討
 - ・モニターツアーの発地候補地の選定、当該市場の特性を踏まえたモ デルプランの検討
 - ・現地キーマン招聘によるモデルプラン検証

沖縄観光の新たな独自性のある旅行メニューとして確立することにより、観光客の多様化に貢献するとともに、健康保養サービスの活性化や 県内医療サービスの多様性の確保を目指している。

- ・沖縄県福祉保健部との連絡会議の中で、県は新たな沖縄振興に向けた制 度提言として「医療特区制度の導入」も考えている。
- ・医療と観光の融合で新産業創出を目指す産学官連携の万国医療津梁協議会は、医療や観光関係者でつくるミッション団を中国・北京市に派遣し、 沖縄の医療観光を現地メディアや観光関係機関に売り込んだ。
- ・政府は沖縄県を訪問する中国人個人観光客向けに、最大90日以内なら何度でも訪日できる「数次ビザ」を2011年7月から発給している。数次ビザは、これまで商用目的や医療滞在ビザで発給されていたが、観光ビザでは初めての取組みである。沖縄振興とともに、東日本大震災後に激減した中国人観光客の呼び戻しをはかることを目的としている。対象は十分な経済力を有する富裕層やその家族を念頭に置いている。

8. おわりに 福岡・九州における医療ツーリズムの可能性

2010年12月に小倉駅新幹線口北側に移転開業した小倉記念病院(北九州市)は、アジア(特に中国)、アラブ諸国の富裕層をターゲットに、658床のうち個室を278室確保しており、しかも、1病室200㎡(普通のマンションの2戸分位)で1泊数十万円の個室まで用意し、年間4,000例の心臓疾患手術のうち半分は外国人を対象にしている。手術を受けた外国人患者は、手術後数時間で外出もでき、したがって、手術の後には観光での外出も可能である。

移転により新幹線口という好立地を得て、利便性が増し、既に各国から多くの患者が来 院している。

高度医療の症例数が確保されることにより、優れた医療システムや医療機器の認知、利用拡大につながる。さらに、受け入れ窓口や通訳、帰国後のアフターフォロー等、患者と 医療機関の橋渡しを行うアレンジ事業者やコンサルティングするサービス産業の創出も始まっている。

医療ツーリズムの推進はもちろんだが、海外との国際医療交流により、医療分野を中心 に産業全体に対して大きな波及効果を生み出す契機として捉え、福岡・九州の医療及び関 連産業の市場拡大を目指す視点が重要である。

そのためには行政の後押しが必要なことはいうまでもない。今後インバウンドを増やすには、制度やインフラの面でも整備を進めなければならない点はたくさんある。査証や出 入国管理の改善、インバウンド業法の整備も求められる。クレジットカードの使用できる 施設やキャッシュディスペンサーの設置も不十分である。

さらに、立派な設備を充分に活かすためには国際会議やセミナーにも力を入れる必要がある。

中国では医療保険はあるものの、受診できる病院は限られており、待ち時間が長いことも少なくない。このため富裕層の間では、保険の対象外であっても私立病院などを選ぶケースも多く、高度医療を売りにする病院の治療費も高額となっている。高度医療で体質改善や減量、癌の予防などが可能であれば充分競争力はある。

我が国でも国民皆保険制度の良さを生かしながら、検診分野などの競争力を持つ分野で 門戸を一部開放していくことは、医療システムの活性化や国際的な医療水準への引き上げ などに寄与していくのではないだろうか。福岡・九州でも医療集積をはじめとした地域資 産を活用した、これからの戦略とビジョンが求められる。

医療ツーリズムは単に海外の患者を獲得することだけではなく、医療あるいは当該病院の国際化につながる。すなわち病院のレベルアップひいては当該病院の医師のレベルアップにつながり、そして観光を通してその地域の活性化につながるのである。

参考文献

- ・観光庁「観光立国の実現に向けた取り組み」平成22年11月
- ・観光庁国際観光政策課「医療観光に関する取組み」平成22年11月
- ・経済産業省「サービス・ツーリズム(高度健診医療分野)研究会とりまとめ」平成 21 年 7 月
- ・経済産業省「平成 20 年度サービスイノベーション創出支援事業(サービス産業能力評価システム構築支援事業)」
- ・羽生正宗「アジア諸国のメディカルツーリズム促進要因分析」山口大学経済学会『山口 経済学雑誌』第59巻第3号、平成22年9月
- ・羽生正宗「医療ツーリズム 実証分析-日本への導入可能性-」慶應義塾大学出版会、平成 23 年 12 月